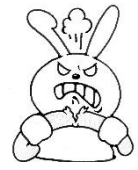


マイナンバー制度反対連絡会ニュース No. 8



連絡先・全労連 TEL03-5842-5611 fax03-5842-5620

2023年5月11日発行

マイナンバーカード強制をやめて保険証 廃止法案は撤回を「5. 18院内集会、 署名提出行動」ご参加ください

●緊急行動●（以下、予定です。確定次第、追ってご連絡します）

5月12日（金）10:00～12:00座り込み行動（衆院第2議員会館前）

12:00～13:00昼休み集会（同上）

5月17日（水）10:00～12:00座り込み行動（衆院第2議員会館前）

12:00～13:00昼休み集会（同上）

**5月18日（木）12:00～13:00緊急！院内集会（企画は確定です、第2議員
会館多目的会議室）**

5月19日（金）10:00～12:00座り込み行動（衆院第2議員会館前）

12:00～13:00昼休み集会（同上）

4.27 保険証廃止を含むマイナンバー法改定案が衆議院本会議で採決。集会に 全国各地をオンラインでも結び、会場と合わせ、600人以上が参加。

全国保険医団体連合会は4月27日衆議院第2会館内で、「保険証廃止法案は撤回を！国会内集会」を行いました。集会に全国各地をオンラインでも結び、会場と合わせ、600人以上が参加しました。

4・27 国会内集会 国会議員参加一覧

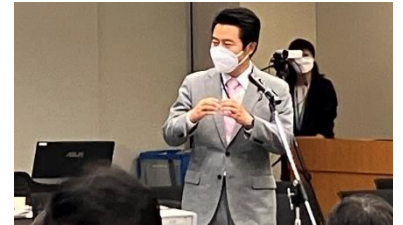
櫻井周衆議院議員（立憲・比例近畿）馬淵澄夫衆議院議員（立憲・奈良1区）伊藤岳参議院議員（共産・埼玉）石垣のりこ参議院議員（立憲・宮城）福島みずほ参議院議員（社民・比例）倉林明子参議院議員（共産・京都）野間健衆議院議員（立憲・鹿児島3区）高良鉄美参議院議員（沖縄の風・沖縄）鎌田さゆり衆議院議員（立憲・宮城2区）吉田統彦衆議院議員（立憲・比例東海）宮本徹衆議院議員（共産・比例東京）阿部知子衆議院議員（立憲・神奈川12区）

政府は保険証廃止を含むマイナンバー法改定案を強行採決に踏み切った怒りに たいしてツイッターデモは100万人達成、オンライン署名も10万人突破

4月27日、保険証廃止を含むマイナンバー法改定案が衆議院本会議で採決されました。国民皆保険制度の根幹を揺るがし、国民に大きな不利益をもたらす重要法案を、国民多数から「保険証廃止やめて」の声があるさなかに採決したことに強く抗議する運動は広がり、4.27まででツイッターデモは100万人達成、保団連作成の#保険証廃止やめてのオンライン署名も4.27までで10万人の賛同が集まりました。集会には多くの各団体が集まり、4党会派、立憲民主党、社会民主党、日本共産党、沖縄の風の議員も駆けつけてくれました。また、当日参加することができない議員からは、メッセージが寄せられました。

マイナンバー廃止は絶対抗議しなければならない（立憲・桜井周議員）

立憲民主党桜井周衆議院議員は「マイナンバーカード廃止は止めなければならない、皆さんよろしくお願いたします」と呼びかけました。



桜井周議員

医療介護保険の崩壊を防ぐべき（保団連・杉山正隆理事）

司会は保団連の杉山正隆理事は冒頭「医療介護保険制度の議論がないままの強行は許されない」と語りました。

強引な保険証廃止採決はありえない（立憲・馬淵澄夫議員）

続いて、立憲民主党馬淵澄夫衆議院議員は「強引な保険証廃止はありえない。マイナンバーカード廃止改定法は、番号法の違反だ。強行採決に断固反対しましょう」と呼びかけをしました。

本会議採決までの審議時間があまりにも短すぎる、三権分立の否定だ（保団連・住江会長）

保団連の住江憲勇会長が開会挨拶。住江会長は保険証廃止に関して国会審議の時間が短いと指摘し、「立法での審議は不要といわんばかりの三権分立の否定。国民主権の侵害で、断じて許されない」と述べ、政府の姿勢を批判しました。

現行の保険証のままでいい（日本共産党・伊藤岳議員）

その後、国会議員の合流があり、まず初めに日本共産党伊藤岳参議院議員は「マイナ保険証のせいで、医療機関がつぶれてしまう。現行の保険証を残せば、すべての矛盾が解消するのではないかと述べました。

認知症の人やマイナンバーカードについてわからない人が無保険になる（日本共産党・宮本徹議員）

日本共産党宮本徹衆議院議員は「資格確認証はホームページ申請か役所で申請となると認知症の人などが無保険になる」問題点を露わにしました。

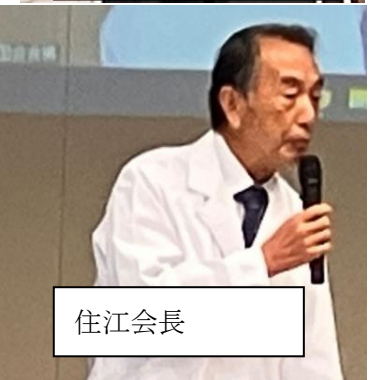
防衛費にお金をかけるのではなく、医療費に回せ（立憲・石垣のりこ議員）



杉山正隆理事



馬淵澄夫議員



住江会長

立憲民主党石垣のりこ参議院議員は「マイナ保険証の申請主義でとりのこされる人がいる。防衛費にお金をかけるのではなく、医療費にこそお金をかけるべき」政府の姿勢を批判しました。

健康保険証を身分証代わりに使っている人がいる

(社民党・福島みずほ議員)



福島みずほ議員

社会民主党福島みずほ参議院議員は「突然、昨年河野大臣がマイナンバーカードと保険証の紐づけを言い出した。マイナカードは申請主義。デジタル庁に質問したが、デジタル庁の回答は「申請してとっているから任意」といった。健康保険証は免許をもっていない人にとっては身分証になっている。廃止するのはありえない。そういった人に対するケアはどうするのかといった質問にもデジタル庁は答えない。」とデジタル庁の姿勢についての問題を掘り出しました。

国民を管理しようとしている (立

憲・野間たけし議員)

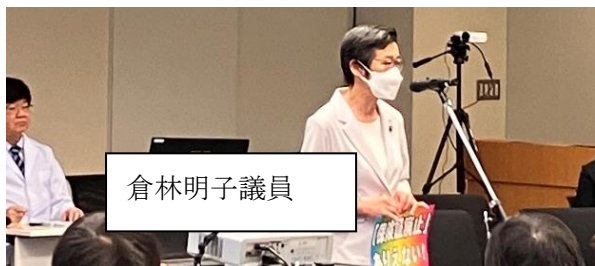


野間たけし議員

立憲民主党野間たけし衆議院議員は「みなさんこんにちは、今日はこれだけの人数が集まり大変恐縮です。政府は、個人情報を集めて国民を管理しようとしている。許されないことだ」と危惧を露わにしました。

医療弱者の受療権の侵害になる (日本共産党・

倉林明子議員)



倉林明子議員

日本共産党倉林明子参議院議員は「マイナ保険証は今後口座紐づけと結びついたマイナカードとセットになり、その人の資産に応じたマイナカード活用となる。受療権を侵害するな、断固健康保険証廃止するなと頑張りたい」と政府の姿勢を問題にしました。

マイナカードに紐づけられた個人情報

政府が選定した事業者が閲覧し、活用される (経済ジャーナリス

トの荻原博子さん)



国会議員挨拶、署名提出が終わり、ゲストスピーチに移り、経済ジャーナリストの荻原博子さんのスピーチ。マイナンバーカードの保険証利用では、5年ごとの更新が必要なことについて「認知症の高齢者が、暗証番号がわからず更新できないケースもでてくる」と指摘。「5年後からは、60年かけて気づき上げてきた医療が崩壊し始める」と危機感をあらわにしました。

マイナカードの情報の一元化はなくなるリスクがある (沖

縄の風・高良鉄美議員)

その後、沖縄の風高良鉄美参議院議員が到着。高良議員は「マイナカードは情報の一元化としているが、一元の一がなくなる大変なリスクがある。医療現場でもマイナカードの取り扱いで混乱が起きている。マイナカード法改正断固反対の声をあげ、運動を引き続き、一緒に取り組んでまいりましょう。」と呼びかけました。

マイナカード管理に伴い利用者・家族と施設側との無用な

混乱・トラブルを招きかねない（保団連・竹田智雄副会

高良鉄美議員

長) その後、各界からの発言。初めに医療現場の声から保団連医師竹田智雄副会長は「健康保険証が廃止されると利用者・入所者の医療へのアクセスが困難を抱える。利用者・入所者のマイナカード管理に伴い介護・高齢者福祉関係者に多大な負担となる。マイナカード管理に伴い利用者・家族と施設側と無用な混乱・トラブルを招きかねない」と主張しました。

個人情報の観点から、施設（長）の責任の重さ（老人ホームこぶしの里・介山篤さん）

次に介護施設の立場から七野会特別養護老人ホーム原谷こぶしの里施設長介山篤さんの発言で、介山さんは「入所者の保険証は、施設が預かることがほとんどだ」としたうえで、マイナンバーカードでは預かるリスクが大きすぎ「施設長として、入所者の家族に『預かせてください』とはとても言えない」と語りました。

マイナ保険証更新による不安を家族が持っている（認知症の人と家族の会・代表理事鈴木森男さん）

最後に利用者の立場からの発言で、認知症の人と家族の会代表理事鈴木森夫さんは「在宅で妻を介護している夫が、マイナカードの申請時に認知症の妻を連れて行けないのに本人がいないと申請できないといわれた。職員からは「規則ですから」と答えるだけ。代理人ができるようにしないと申請は増えない。更新が大変だ。マイナカード申請では顔写真の背景でダメ出しをされ、認知症の人の顔写真を撮ることはとても大変だ。事務手続きを国が管理すべきだ」と問題点を発言しました。

がんになった母にマイナ保険証を強制できない（立憲・鎌田さゆり議

員) その後、立憲民主党鎌田さゆり衆議院議員が到着。鎌田議員は「がんになった母にこれからマイナ保険証を強制しなければならないなんておかしい。そのようなことはできない。強制反対の声を上げ、共に戦いましょう」と呼びかけました。

日本の医療は産業界ばかりむいている（立憲・吉田統彦議員）

立憲民主党吉田統彦衆議院議員は「私は医師で診断をしているが、窓口でマイナカードを持ってきている人を見たことがない。日本の医療はすきま産業界ばかりもうかる。誰のためにどこを向いているのか」と発言しました。

申請主義はとても負担が大きい。マイナカード更新

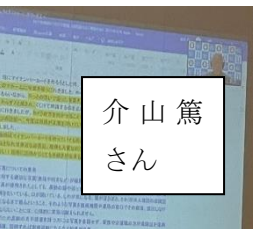
の手間が大きい（保団連・森元主税副会長）

閉会挨拶では森元主税保団連副会長。森元副会長「マイナカードの申請主義は高齢者にとっても負担だ。私自身も5年ごとに更新は覚えられない。保険証廃止法案は撤回すべきだ」と締めくくりました。

4・27 国会内集会へのメッセージ



竹田智雄副会長



介山篤さん



鎌田さゆり議員



吉田統彦議員



森元主税副会長

【衆議院議員】

○源馬謙太郎衆議院議員（立憲）参加できず申し訳ありません。皆様と意思を一つにして私もがんばっていきます。ご盛会をお祈りします。○笠井亮衆議院議員（共産）国民が安心して医療を受けられる権利を脅かし、医療機関に多大な負担を押しつける「保険証廃止法案」は許せません。保険証廃止は撤回し、プライバシー侵害のリスクが避けられないマイナンバー制度は廃止すべきです。私もみなさんと心一つに頑張ります。

○鎌田さゆり衆議院議員（立憲）現行の保険証の存続を求め！法案撤回を皆様と共に求めて参ります。国民の皆様の医療を守る為、共に頑張りましょう。

○阿部知子衆議院議員（立憲）マイナ保険証の押しつけは国民の医療を受ける権利を奪うもの、断固反対！

○鈴木義弘衆議院議員（国民・無所属クラブ）国民皆保険制度を堅持するのはもちろん、保険証の利用者が不利益にならないように働きかけて参ります。

○森田俊和衆議院議員（立憲）全ての患者さん、診療所等の皆様が不利益を被らないよう求めてまいります。

○青山大人衆議院議員（立憲）問題点が数々指摘されるこのような制度を拙速に進めるべきでなく、少しでも制度の見直しにつながるよう、皆様と共に取り組んで参ります。

○福田昭夫衆議院議員（立憲/無所属）法案に反対する最大の理由は、健康保険証の廃止です。立憲民主党は、希望者がマイナンバーカードに保険証を登録することに反対するものではありませんが、カードの取得促進のための廃止は強引すぎます。カード取得自体は申請主義で任意でありながら、国民皆保険の下での健康保険証を一方向的に廃止し、不利益を生じさせることは認められません。資格確認書も申請に基づくものであり、国民皆保険に漏れが生じかねません。そもそも資格確認書が今後どうなるかもはっきりしていない見切り発車です。高齢者施設では、カードや暗証番号の管理が大変だとの声が上がリ、過疎地や中山間地では、オンライン資格確認等システムへの対応が難しいことから閉院となるなど、医療アクセスが困難になる可能性があります。国民皆保険の下、誰もが必要なときに、必要な医療を受けられる体制を堅持するため、健康保険証を存続させるべきです。政府が行うべきは、強引な政策誘導ではなく、政府への信頼を高め、利便性の向上をはかるとともに、個人情報の漏洩防止や安全性の向上に努め、国民のマイナンバー制度やカードに関する不安や懸念を払拭し、丁寧な説明と国民的議論を行うことです。今後も、国民のための行政と社会のデジタル化を推進する政党として、個人情報保護とセキュリティを十分に確保し、行政の監視や統制の手段ではなく、国民の利便性の向上に資するデジタル化を目指していくことを表明します。

○塩川鉄也衆議院議員（共産）この法案は、保険証を廃止してマイナ保険証利用を押しつけるものです。マイナンバーカードの所得は義務ではありません。保険証を”人質”にマイナンバーカードの取得・利用を強要することは許されません。資格を有することを示す保険証を被保険者に届けることは、国・保険者の責務です。申請交付であるマイナ保険証や、今回創設される資格確認書に置き換えることは、責任放棄であり、国民皆保険制度を揺るがすものです。衆議院は通過してしまいましたが、参議院の審議はこれからです。頑張りましょう。

【参議院議員】

○山下芳生参議院議員（共産）マイナンバーはこれを入り口にしてさまざまな個人情報を得ることができ、個人情報保護に不安を抱く国民は多くいます。にもかかわらず、健康保険証廃止法案は、健康

保険証を廃止、マイナンバーカードに一体化することで国民全体にマイナンバーカード取得を強制するためのもので認められません。医療・介護現場でもマイナンバーカード管理や資格確認書の更新管理などは困難との悲鳴が相次いでいます。システム整備やセキュリティ対策の費用負担に耐えられない等で地方の医療機関からこれを機に閉院するとの声も多数挙がっています。国民の個人情報を守る意味でも、国民の医療を受ける権利を守る意味でも、参議院で「健康保険証廃止法案」は撤回させる必要があります。共に頑張りましょう。

○上田清司参議院議員（国民/新緑風会）マイナ保険証の導入については慎重を期すべきと考えます。

○熊谷裕人参議院議員（立憲）国民皆保険の下、だれもが必要なときに、必要な医療が受けられる体制を堅持するため、健康保険証を存続させるべきである。健康保険証を廃止し、マイナンバーカードの取得を事実上義務付ける政府方針には、疑問や問題点があり、認められない。

○高木真理参議院議員（立憲）保険証廃止法案の撤回に向け、ともに頑張りましょう。